

## 羅臼町の祭り&行事

毎年、羅臼町の現地コミュニティでは、町の歴史や文化を記念する行事を主催しています。神道の神様を称える祭りや季節の祝い事、コミュニティ全体が参加する踊りや地元の食べ物を中心とした行事などが開催されています。祭りの時期に羅臼町を訪れることができれば、これらの祭りを体験することができます。

### 季節を祝う

4月上旬に開催される知床雪壁ウォークは、春の到来を祝うものです。参加者は、羅臼町を半島の東側にあるウトロとつなぐ曲がりくねった山道、知床峠の雪壁になっている箇所を歩くことができます。積雪量が多いことから、11月上旬から4月下旬までこの道路は閉鎖されています。祭りは2週間開催され、その後、道路が開通します。

秋祭りは、9月の最初の10日間に開催されます。住民が市場を設置して季節の産物や地元の商品を販売します。

### 神々、漁民、そして地域コミュニティに感謝をささげる

羅臼神社では、7月の最初の3日間に、毎年、祭りを開催し、漁民を守るとされるその神に感謝の意を表しています。周辺では神輿が担がれ、地元の団体による踊りが披露されます。

9月末に開催される漁火祭りは、町の中核産業である羅臼の漁業を支える地元の漁民を称えるものです。この行事の際は、ボランティアの人々が訪れる客に無料で、獲れたての海の幸を使った海鮮丼を配っています。

6月の第3土曜日に開催される知床開きは、羅臼町の住民が一か所に集まる機会となっています。知床開きの期間中は、4,800人いる住民の多くが漁港に集結して踊りや、ドッジボールや鬼ごっこなどの対戦ゲームを楽しんでいます。

### 地元の食べ物を紹介する場

知床羅臼こんぶフェスタは、7月末から8月上旬の間に3日連続で開催されます。その旨みで世界的に定評のある羅臼昆布の普及をテーマにした行事です。羅臼昆布について学び、収穫を体験し、昆布を生で試食することができます。